

今週のコロナニュース

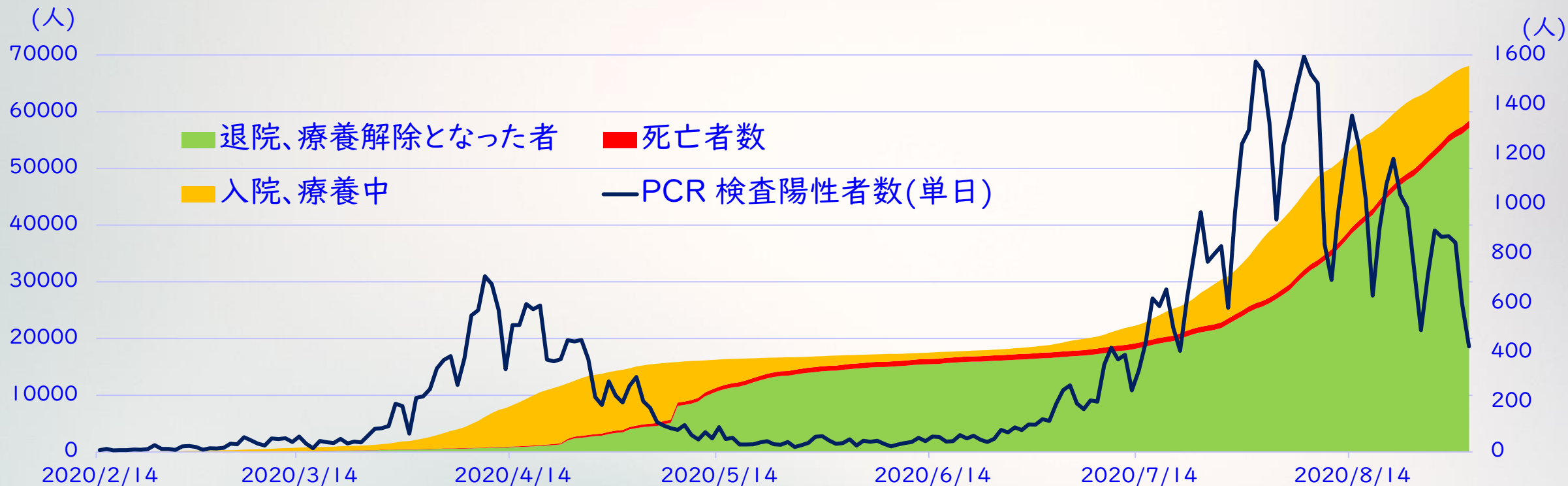
令和2年9月3日

COVIDなんですよ。コビットじゃないんです。コビッド。微妙に違う。たまにコビットって言われるから気になっちゃうんです。ついで。

似てるけど微妙に外れて意味では、その昔うちの親がX Japanの人が地元に来てたよって言ってたから誰？って聞いたら“トシキ！”って言ってたし、昔の有人に藤田って子がいて、あだ名がフジータだったからてっきりベジータから来てると思ったらフリーザから来てたと知ったときは“そっちかよ！”って思ったし、近所の犬の名前がダンディってずっと思ってたら実はランディだったし。。

正しく理解するって大事ですね。コビッドも正しく理解して正しく怖れる。今回の久々のニュースは総括中心で。

第2波ってどこから来たの??



さて、おしゃれなグラフを作りました。病気の流れを掴む時とページ数を稼ぐのはグラフに限りますね。毎年の年賀状もいかに写真を大きくして手書き部分を少なくするかばかり考えてます。

- ・青線は毎日の陽性者さんの数→2つ山がありますがそれもおさまってきてます。
- ・赤範囲は亡くなった人の数→なんとか1-2%くらいで増えることなく来ています。
- ・緑範囲は退院できたり隔離解除できた方です。この割合が増えるといいのです。

頑張れば1ヶ月でおさまってくれるのかな



第1波も第2波も同じようなパターンでしたね。

ウイルスは潜伏期がだいたい7日くらい(最長14日程度)だから、誰かが発症する頃にはすでに7日経ってますよね。だからニュースで報道され始める頃にはすでに広がってる、だからその後2週間くらいは必ず増え続けます。

そして、報道が始まると一気にみんなで自粛しますね。その効果は2週間後に現れます。そして沈静化。

この繰り返しですね。つまり毎回收まるまでに1ヶ月はかかるだろうけど始まりのアラートが早いほど山の高さを抑えられます!

恐ろしい時期が過ぎるとしばしの安寧が来て、また恐ろしい時期が来ての繰り返し。。

これ、あれだわ、あれに似てるわ。ナギ節。えっ?何それって?とりあえずFF10をプレイしましょう。

で、結局第2波ってなんやねんと。第1波は中国由来、第2波は欧米由来、だから今回は第3波やんっていう無粋な話はおいといて、なんで増えちゃったのかを知ることは今後の対策にも関連してくるわけですね。実際なんでまた増えだしたの??ズバリ、

おさまりぎってなかった!!!!

です。。。

日本は島国だから、感染早期なら海外からの持ち込みを抑えれば減っていくわけですね。で5月頃まででだいたいうまくいってました。第1波がおさまり始めると皆さんこう思ってたわけです。。。実際に診た患者さんもこう言う方がそこそこいました。



コロナは心配だけど死ぬわけじゃないよね。もし陽性になったら近所やマスコミから何言われるか。。。多分違うっしょ、検査も嫌だな。

もうこれだけ下火だから患者も減ってきているだろう。検査しなくてもいいだろう。

**“検査しなくていっか”
という利害関係の一致!**



自粛解除ムードに加え、疑うことも減っていった・・・

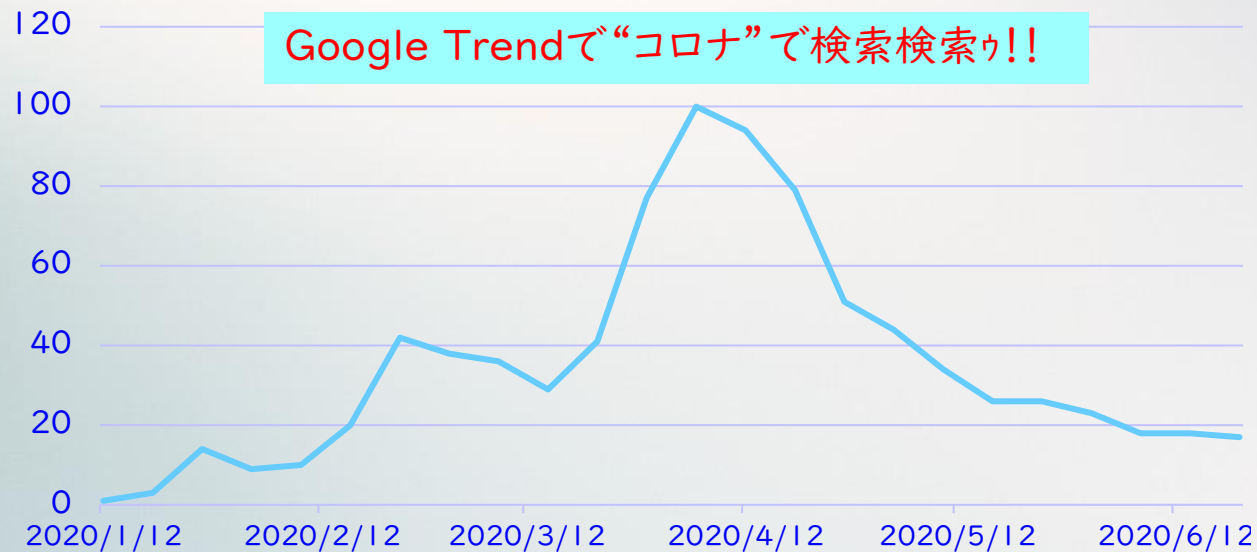
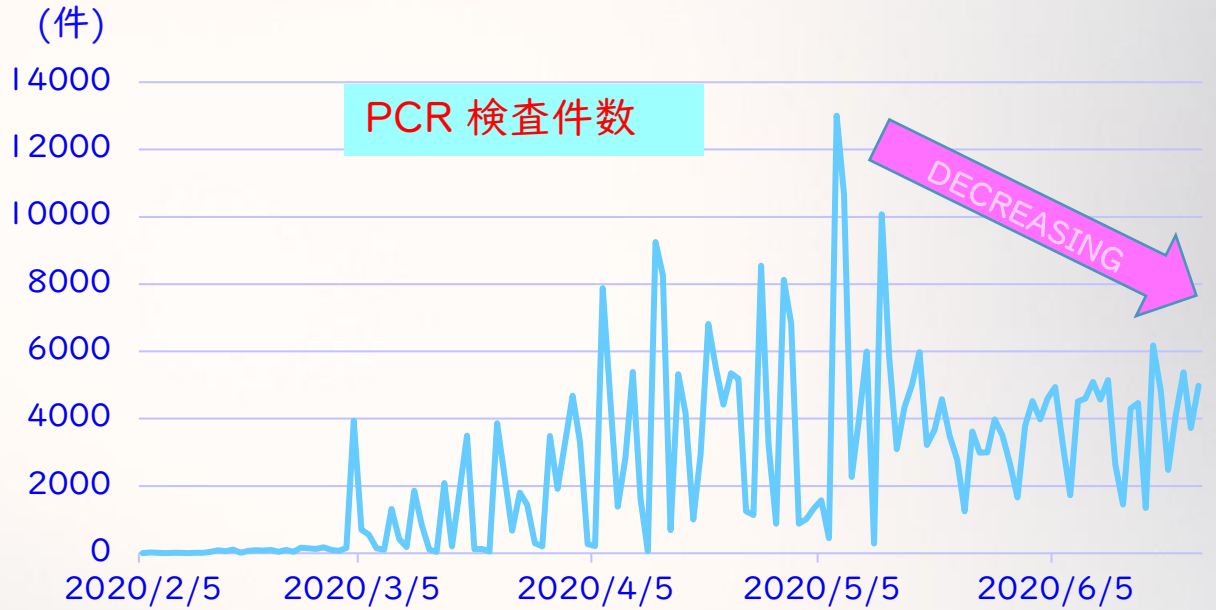
- ・患者の減少という安心感と、病気に対する慣れ
- ・患者への差別・偏見、患者と思われたくない
- ・無意識のうちに社会全体が検査を忌避する流れ



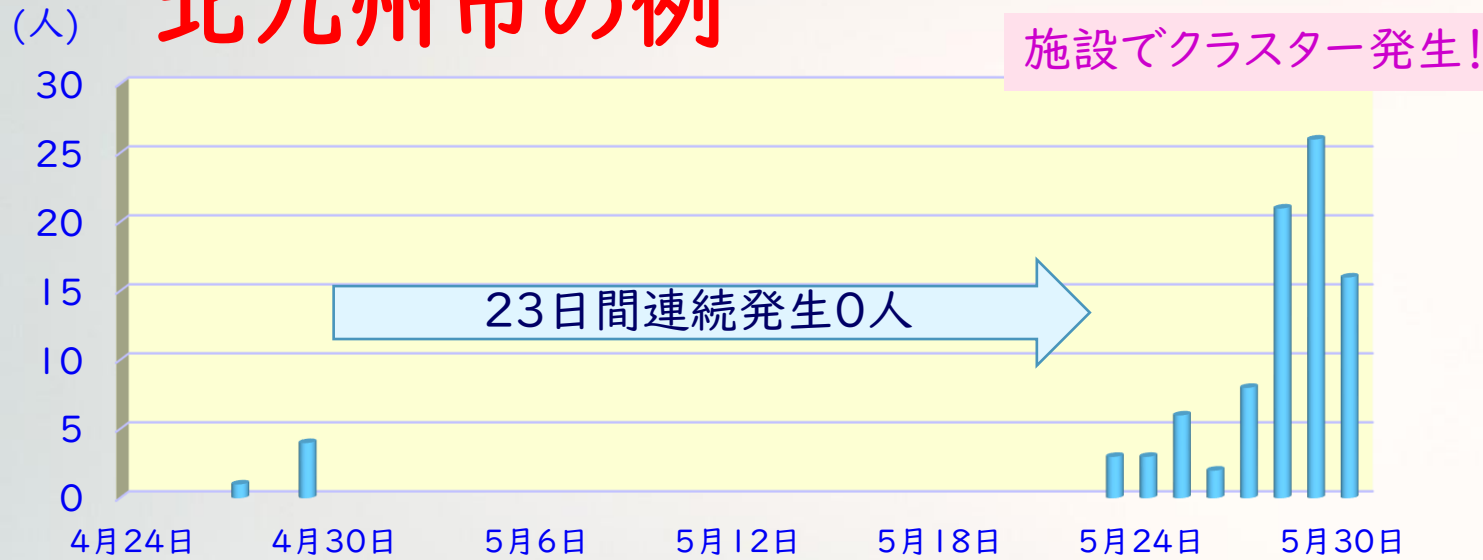
- ・軽度の症状があってもコロナを疑わず仕事や遊びへ
- ・行動制限の解除による社会全体の活動再開
- ・病気に対する興味の風化

検査が減ったのは患者さんが減ったことに加え、関心が減ったから。

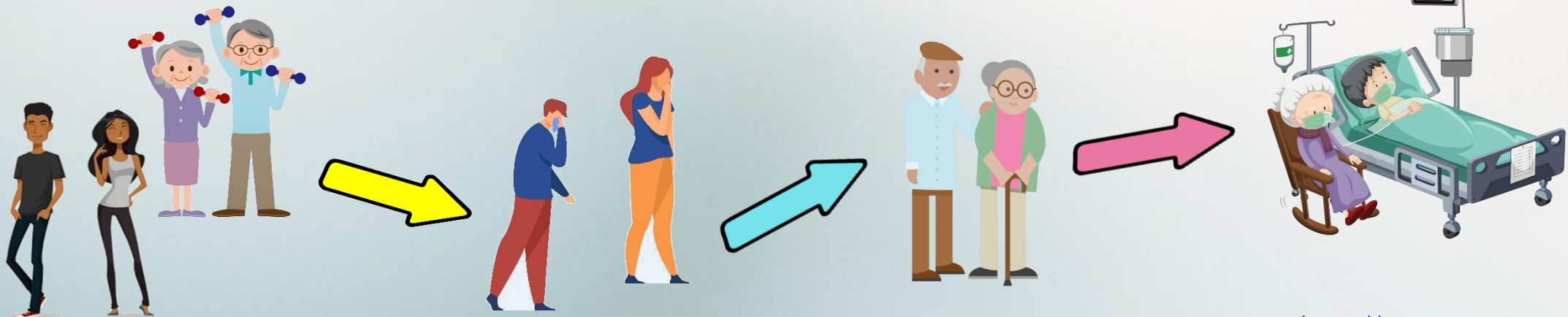
しかし特に症状の軽い人を中心に知らない間に広がっていくわけですね、そして起こるわけです。
ある日突然どこからともなく経路不明の大きなクラスターが・・・



北九州市の例

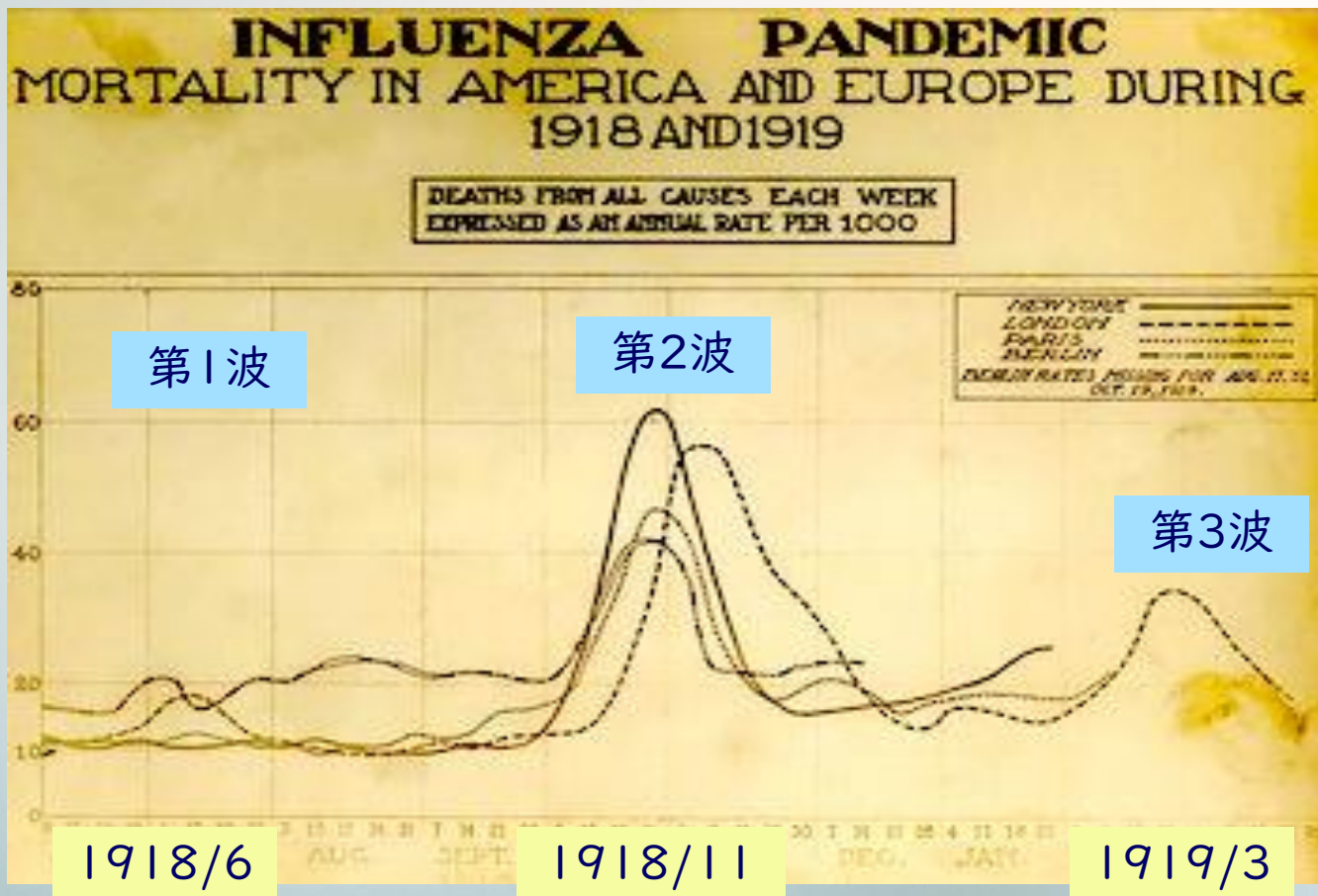


高齢者集団・・・症状が重篤化しやすく病院へ行く機会が多い→クラスター発見しやすい
若者集団・・・症状が軽く病院に行く習慣もない→ちょっとくらい大丈夫→見つかる頃にはすでに大多数
“ずっと患者さんがいなかった”というのは安心なのではなく、軽症から軽症へとうつり続けて、ある日突然
クラスターで発覚します。



第2波は“安心と油断”が原因??

もちろんどこの都道府県でも同じことは起こりますし、高齢者施設にたどり着かなくても若者の間だけで広がって、気がついたときにはたくさん患者さんがでてくる。という展開もありますね(東京のパターン)。要するに、第1波っていうのは、海外からの持ち込みだったのですが、第2波っていうのは国内のくすぶりが再燃して燃え広がったという違いです。



1918のスペイン風邪の死亡率です。第2波の方が影響力が高いのは、諸説ありますが、その中にはやはり、少し山がおさまったことによる活動再開と安心があったことはよく言われています。

1回の表をなんとか最小失点で切り抜けたけど、安心して2回の表に大量失点する。というパターンですね。

必ず次は来る!って覚悟して生活するのが大事!

第3波はじゃあどうすりゃいいの??

結局

- ・感染が落ち着いたから大丈夫だろうとう安心で一気に活動を再開した
- ・多分コロナじゃないだろうという慢心が体調が少し悪いくらいでも出歩く結果となった。
- ・感染者への誹謗中傷や、インパクトのために煽り立てることが検査忌避につながった。わけです。

コレって100年前のスペイン風邪と全く同じ。まるで成長していない…
って安西監督もビックリ!



だからやることなんて以下の通り!!

- ・“3密の回避、手洗い、social distance、距離が取れないならマスク“の徹底。
- ・体調が少しでも悪ければ仕事や食事、遊びに行かない。
- ・感染者や施設をことさらに公表しない、誹謗中傷しない。

でも、いちばん大事なものは

この病気は“数ある病気の一つ”と考えること!!!

数ある病気の一つ??

ヨシッ!! 病気の一つだから毎日の患者数を速報で煽りまくるぞ!
ヨシッ!! 病気の一つだから患者が周りに出たらココぞとばかりに誹謗中傷するぞ!
ヨシッ!! 病気の一つだから感染したらメディアに出演して謝罪するぞ!



じゃないっつーの!!

数ある病気一つってのは、

- ・普段から感染対策をしっかりとすること
- ・この病気は決して珍しいものではなく、もう人間社会に入ってきてるものって考える。
- ・“ただの風邪”って軽視せず、かといって“かかったらオシマイ”って考えすぎもしない。正しく怖れる。
- ・でも決して油断と安心をしないこと。この病気にはこの病気に合わせた対策をすること
もう何をすればいいかはわかってるでしょ。

個人的には、過去100年の例に倣えば、我々医療者も対応はわかってきていて、みなさんもどういう病気でどうすればいいのか段々わかってきている。第3波と言われる患者増加は来るんだろうけど、みんなやること分かってるから大騒ぎすることなく粛々と対応されるんじゃないかなと思ってます(半分期待)。

そうすると指定感染症どうするかとなりますね。

さてー。NOW!!でも少し触れましたが思いのほか早く指定感染症の話が来ましたね。なんか一部メディアでは“指定2類”とか“2類扱い”などの言葉が飛び交いますが、新型コロナは指定感染症ってやつです。まず指定感染症ってなんぞや?って事ですが、日本には1-5類の感染症がありますね、でも新しい病気はとりあえず指定感染症で枠に入れて、いろいろな制限をオプションふんだんにカスタマイズして行くのです。(これは政府がやります。)

類型	1類	2類	3類	4類	5類	指定感染症
代表的疾患	エボラ、ペスト、マールブルグ熱など	結核、ポリオ、SARSなど	腸管出血性大腸菌、赤痢など	デング熱、マラリア、狂犬病など	AIDS、麻疹、風疹、梅毒など	新型コロナ
ざっくり言うと	しゃれになんない感染力と致死率 血液ウイルス系	結構広がりやすく危険 気道感染症系	それほど危険じゃないけど 特定の職業に制限が必要になる。 食中毒系	人から人にうつりにくい けど動物とかから来る 動物系	重症度とかではな く発生動向を定期的に チェックする 公衆衛生系	ご存じの通り
就業制限	○	○	○	×	×	○
入院しなきゃだめ	○	○	×	×	×	△ (自宅療養も可)
疑い患者も含む	○	○	×	×	×	○
医師が届出必要	○	○	○	○	○	○
建物封鎖・交通制限	○	×	×	×	×	○

よ、よ、よ、よく見ると新型コロナってのは2類より1類に近いんだなー。

そうすると指定感染症どうするかとなりますね。

さて、この新型コロナの特徴は??

- ・感染力は強い!!!! Sクラス
 - ・致死率は全体では1-2%、高齢者では高いけど他の肺炎と同等 Bクラス
 - ・動物由来って事も無く人から人へ感染する
- てことは、2類ほど怖くないけど、5類ほどユルユルもこまったな。ていう感じ。

甲) 致死率低いんだからただの風邪だ! 全例報告なんてするから社会不安になるがな!!

乙) でも感染力強いんだぞ!! これほど広がりやすい肺炎はないぞ!!

甲) 毎日患者数を言って煽るばかりじゃないか!! 公費負担だって不要やわ!!

乙) でも公費負担しないと治療が受けられなかったり受けなかったりする患者が出て拡大するかも!

甲) そんなこと言ってたら経済回らんし! いつまでも前に進んで!!

乙) わあっとるわいな、だからもうちょい待ってーの! まだ冬どうなるか分からないし!!

というやりとりがあるのかは知りませんが、指定感染症は1年、その気になったら最長2年延ばせます。多分病気としては5類なんでしょうけどそれに対応できるほど医療体制がまだしっかりしてないから2類要素もあるんですよ。多分しばらくは指定感染症の欲張りオプションカスタマイズで行くと思います。まずは軽症と重症の扱いの区別をはっきりさせに行くんでしょーねー。

そもそもなんで日本はPCRできる環境が少なかったの??

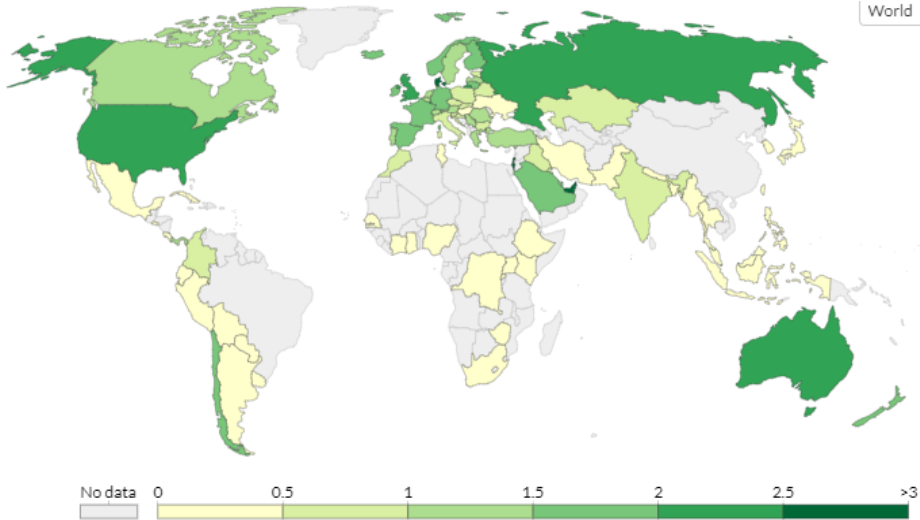
今更なんですが、なんで当初日本はPCRをできる環境になかったのて話ですね。これももう単純に

- ・PCRをこんなにやる必要がある疾患に巡り会ったことがないから機械が少なかった。
 - ・日本に存在する病気の診断には他の方法が充実していたから不要だった。
 - ・で、いざ増やそうとしても人員も供給もパンクして、認可も進まず、
- ですね。

1000人あたりナンボPCR検査やっどるん?

Our World
in Data

World



Source: Official data collated by Our World in Data
Note: Comparisons of testing data across countries are affected by differences in the way the data are reported. Daily data is interpolated for countries not reporting testing data on a daily basis. Details can be found at our Testing Dataset page.

CC BY

例えば医療が発達していない国は逆に言えばCTなんてモノはないわけです。それに日本はウイルス感染症でエライ目に遭ったことがないわけです。

韓国なんてMERSでエライ目に遭ったからそのときに大量にPCR機器を購入してますし、途上国も感染症が多い上に不十分な医療ゆえに、PCRだけは買ってさっさと診断。みたいなことも多いです。

要するに、日本には「なんやかんやで必要なかった」訳です。必要ないから売れないし、誰も買わない。いざとなったら保健所に検査頼めば良いし。

医療システムは世界最先端なのは間違いないです。

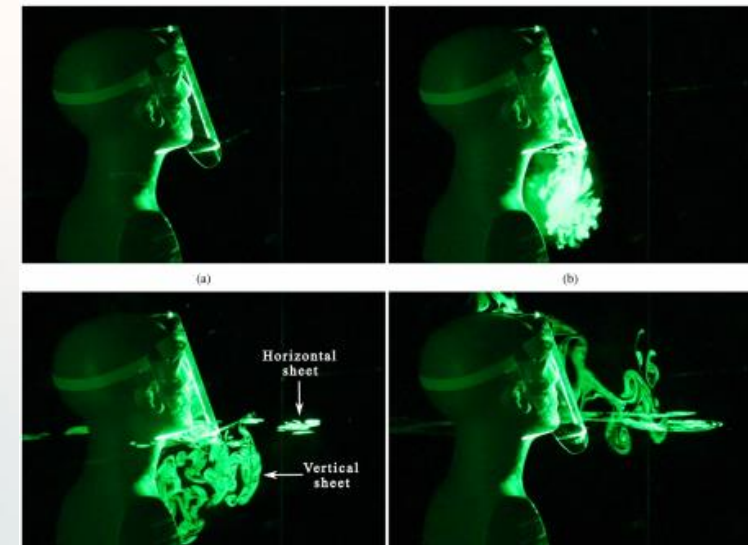
でも実際は、日本は感染症診療に対しては非常に弱いんですよ。だって衛生環境がいいゆえに患者さんが他の国より少ないんですよ。専門家も少ない。まずは感染症内科に市民権をー(涙)

最近の感染対策の報告は??

ちょっとまえにニュースにもやってましたが、海外の報告で右の12種類のマスクをして実際にしゃべってみて漏れ具合はどうかというのがありました。そうしますと**フリース素材やバンダナ**で顔を巻いたら効果が弱かったとのことでした。やはり適切なマスクをしっかりと着用することですね。



フェイスシールドは咳などをすると飛沫がやっぱり漏れ出しがあるからサージカルマスクに比べると効果は劣る。あまつさえ、飛沫は下方向のみならず横側、さらには後ろ側にまで飛散するという結果であったようです。最近流行の口元だけの透明シールドは一体どうなのでしょう・・・



Doom scrollingにご用心

なにそれ?これが分かる人はかなりコロナ通、というかまさにこの症状が出ている人なのでしょう。新型コロナが出てから新しい英単語が海外でもいろいろあります(Covidiot:コロナのデマなどに踊らされて馬鹿げた行為をする人)、(Quarantini:Quarantineとマティーニの造語、宅飲み)。などなど。その一つにDoom scrolling(凶事探すとでもいいでしょうか)があります。

要するに、不安で不安で仕方ないから、ネガティブな情報ばかり探してスマホを四六時中スクロールすることですね。関係ないけど四六時中も好きって言われたいものです。

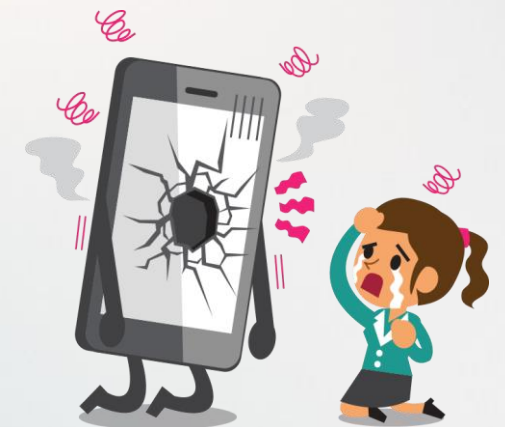
4×6=24時間!

何でそんなことするのかって?

不安だからです。不安だからその不安を和らげるためにもっと不安なものを探しちゃうんです。こんな恐ろしい世界で心が保てないから、悪いものばかりみて気を落ち着かせてしまうのです。ポジティブなものを見ても、その後の不安が出たときの落差がつらいから避けてしまう。

結果的にどんどんネガティブな情報を手に入れて無力や絶望になってしまうわけです。しかもスマホがあればいつでもできちゃうから自分でもやめられない止まらない。

別にコロナに限った話じゃないんでしょけど、やっぱり不健康な精神状態です。さあ今すぐそのスマホを2つに折って、心の旅に出かけましょう。



今週のまとめ

何度も言うようですが、この病気はもう多くのことが分かってきており、やるべき事も分かってますよね。もう半年以上が経ちました。

コウモリ学校から人間学校に転校してきた新型コロナちゃんは、最初はクラスのみんなも、どんな子かしら、すんげー悪い子かしら。って騒ぎ立てるけど、もうそろそろ性格が分かってクラスの一員として普通に扱われる時期です。その子の扱いも分かってきてます。第3波が来てもなお正しい理解がないと、もとの世界にも戻れないし、新しい生活様式にも移行できません。

収まってはまた始まって、始まっては収まって。この繰り返しですね。この病気はそういう病気のようにです。それを繰り返すことでみんな対応の仕方が分かってくる。体が勝手に反応して自然に付き合うことができるようになってくる。そうやって社会全体で理解していくわけです。そして社会全体が理解する頃に行われている生活の形が新しい生活様式というものなのでしょう。

ただ、次に来る波は早く察知する、早く行動する、早く押さえ込む。これを忘れないことですね。

喉元過ぎればなんとやらにはならないようにしていきましょう。